マラウイ月報（２０２３年１２月）

【外交】

１．「マラウイ、ガザ停戦投票を棄権し非難を浴びる」（１４日付ネイション紙）

マラウイ政府は、ガザ地区での人道停戦を求める国連での投票を棄権したことで、複数の国内の市民権団体から非難を浴びている。マラウイは南部アフリカで唯一の棄権国である。

【経済】

１．「マラウイ政府、電気料金値上げを一時停止」（３日付タイムズ紙）

マラウイ中央銀行（ＲＢＭ）のクワチャ切り下げ発表を受け、マラウイ政府は当初予定していた４０．９％の電気料金引き上げ開始を２０２４年４月に延期した。

２．「ドイツ、マラウイに１，４００億クワチャの支援を約束」（３日付タイムズ紙）

１１月３０日、１２月１日にドイツ・マラウイ政府間交渉がオンラインで開催され、ドイツ政府が１，４００億クワチャの支援を提供することに合意した。

３．「スコットランド、サイクロン被害からの復興を支援」（４日付タイムズ紙）

スコットランド政府は、サイクロン・フレディにより被災した３，０００世帯に対し２５０万米ドルの支援を約束した。

４．「イスラエルへの労働輸出、手続に違反」（５日付タイムズ紙）

４日、マラウイ政府は、１９８人のマラウイ人がイスラエルへの労働輸出に関し、関係機関がガイドラインに従っていなかったことを認めた。

５．「マラウイ政府とＥＵ、技術向上イニシアチブを開始」（６日付タイムズ紙）

マラウイ政府は、若者の雇用及び起業機会創出を目的に、ＥＵと共同で「Zantchito Skills for Jobs プログラム」を開始した。

６．「マラウイ、ダルエスサラーム回廊協定に調印」（６日付ネイション紙）

マラウイは、タンザニア・ダルエスサラーム港につながる中央輸送回廊の開発促進を目的とした中央回廊通過輸送円滑化協定に署名した。

７．「マラウイと世銀、５億１，０５０万米ドルの無償資金協力に署名」（７日付タイムズ紙）

マラウイ政府と世銀は、マラウイ社会保障マルチ・ドナー信託基金を通じた、「強靭な生活のための社会支援プロジェクト」継続のため、５億１，０５０万米ドルの無償資金協力に署名した。

８．「ＡｆＤＢ、送電網プロジェクトに３，３００万米ドルを投入」（７日付ネイション紙）

アフリカ開発銀行（ＡｆＤＢ）は、マラウイ、ザンビア、ジンバブエとの国境付近の送電網改善が期待されるソンゴ・マタンボ送電線プロジェクトを実施するため、モザンビークに３，３００万米ドルを供与した。

９．**「ＩＦＡＤ、ＮＢＳと５００万米ドル規模の農業プロジェクトで提携」**（８日付ネイション紙）

国際農業開発基金（ＩＦＡＤ）はＮＢＳ銀行と提携し、紅茶とマカデミアナッツ農家を対象とした５００万米ドルの基金を立ち上げた。

１０．　**「第３四半期の貿易赤字、５億２，８６０万米ドルに縮小」**（９日付ネイション紙）

ＲＢＭの発表によると、貿易収支は５億２，８６０万米ドルの赤字に縮小した。

１１．　**「マラウイ、水に関する４億米ドルの取引を獲得」**（１１日付タイムズ紙）

マラウイ企業の Grow Green は、フィルター製造により５，０００人の直接雇用を創出する。本プロジェクトは、飲料水の入手が困難な１，０００万人に裨益する見込みである。

１２．　**「世銀、直接財政支援を再開」**（１２日付タイムズ紙、ネイション紙）

世銀は、２０１７年以来初となるマラウイに対する直接財政支援を決定し、１億３，７００万米ドルの「マラウイ第一次成長・強靭性開発政策オペレーション（Ｃａｔ―ＤＤＯ）」を承認した。

１３．　**「エコバンク、１，０００万米ドルの貿易金融保証を確保」**（１９日付タイムズ紙）

エコバンク・マラウイは、食糧安全保障強化のため、プロパルコ（仏開発金融機関）から１，０００万米ドルの貿易金融保証を獲得した。

１４．　**「デッザＯＳＢＰを歓迎する貿易業者たち」**（２０日付ネイション紙）

ムチンジのワンストップ・ボーダーポスト（ＯＳＢＰ）に続き、デッザのＯＳＢＰが開業した。

１５．　**「１１月のインフレ率、３３．１％に上昇」**（２１日付ネイション紙）

２０２３年１１月のインフレ率は、３３．１％（対前年同月比６．２％増）。

１６．　**「世銀から２億４，０００万米ドルの気候変動対策支援を受ける」**（２３日付ネイション紙）

マラウイは、世銀から２億４，０００万米ドルの無償資金協力を受け、シレ川流域の管理等、水災害からの復興を強化する取組を行う。

記事の内容にご質問のある方は、当館までお問い合わせください。
代表電話：+265 885 302 222
Email：embmalawi@lw.mofa.go.jp